

★インクルファンドで助成した団体を紹介します★

ともに働くワーカーズ えんこらしよ (日野市)

2016年10月設立。高齢者も障がい者も若者も、子育て中だけ少しだけ働きたい人も、その人にあった働き方で、一人ひとりが持っている力を充分発揮できる働き方をめざしています。今は任意団体ですが、法人格の取得に向けて17年度にプロジェクトを立ち上げて検討する予定です。現在、70代から40代までのメンバー12人が活動しています。

●せっけんのお掃除は作業する人にも優しい●

メインの仕事はせっけんを使った清掃事業。町田・八王子・国領の3デポと調布センター、多摩統合センターの清掃を委託されています。今後は日野市内の仕事、例えば個人宅でのトイレやお風呂、換気扇の掃除を高齢者の見守りとセットで行うことも考えています。

また、日野市はせっけん利用を推進していますが、市の施設の清掃清掃までには及んでいないので、法人格を取得後、ぜひチャレンジしたいとのこと。

清掃の他にIT・食・チラシまき等の部会があります。食部門では夏みかんを使ったマーマレード、トマトやブルーベリーのジャムの製造販売、傷がついて市場に出せない梨を使った焼肉のタレの製造販売など、事業のアイデアが次々生まれ、試作に取り組んでおり、今後、本

格的に取り組むための場所の確保を検討中です。

IT講座は「基礎の基礎」コースから年賀状作りまで4段階あり、少人数でサロンのような雰囲気で行われているので初心者でも安心です。

●一人ひとりに合った働き方を●

地域協議会主催の働き方説明会も行っていますが、まだまだ働く人を募集中です。地域でサポートを必要としている人と、まだまだ元気に働ける人や経験を活かしたい人をつないでいくことで「一人ひとりの思いが大切にされる」ことも大きな目的です。メンバーの活動経験から育んできた様々なつながりや縁を大切に、地域に根ざした事業を展開していきたいと、メンバーの思いは広がっています。



(インクルーシブ事業連合事務局 平岡晴子)

ともに働くワーカーズ えんこらしよ
場所：日野市多摩平 1-8-7 豊田コーポ
電話：090-3451-9147



サポーター募集中！あなたの1日10円で、つながり・支えあう豊かな地域社会をつくろう！

サポーターとは『地域ごとに必要な機能をつくり、市民が参加し利用するまちづくり型福祉』を推進し、豊かな地域社会づくりにつなげるために、インクルーシブ事業連合の運営および助成の財源を寄付で支える、個人または団体のことです。

<会費> 個人 3,600円/年 団体 10,000円/年

※生活クラブ組合員の場合、登録制で300円/月を共同購入代金と一緒に引き落とすことができます。

★サポーターになるには、下記の登録申込書をファックスまたは郵送していただくか、

ホームページのお申し込みフォームからご登録ください。URL <http://inclusive-gr.com/>

郵送先：〒156-0051 世田谷区宮坂 3-13-13 3F「生活クラブ・東京」内 インクルーシブ事業連合

ファックス：03-5426-5203 電話：03-5426-5207

お名前			
ご住所	〒		
電話番号		メールアドレス	
所属	・生活クラブ生協（組合員コード：）	・助成を受けた団体	
	・運動グループ（団体名：）	）会員・メンバー	
	・その他（）		
申し込み口数	個人（）□	・・・1□	3,600円/年
	団体（）□	・・・1□	10,000円/年

*ご記入いただいた個人情報は、インクルーシブ事業連合のサポーター登録およびお知らせの送付に限り使わせていただきます。

つながって実現！市民主体のまちづくり型福祉

インクルーシブ通信

2017年6月
VOL.20



発行：生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合 発行責任者：土谷雅美 <http://inclusive-gr.com>

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂 3-13-13 生活クラブ・東京内 TEL 03 (5426) 5207 FAX 03 (5426) 5203

子どもの居場所フォーラム@江戸川

江戸川地域協議会では3月11日、子どもの育ちを応援する区内4団体とともに、子どもの居場所の現状と課題を共有、今後の取り組みについて話し合いました。60名の参加者で会場は熱気に包まれました。



30年前から生活保護家庭の子どもの高校受験を支援している学習支援の草分け「江戸川中三勉強会」(徳澤健さん)は、区職員を中心としたボランティア団体。学びだけでなく、くつろぐ場も提供しており、卒業生の居場所にもなっています。20年前、子育てママたちが始めた「江戸川遊ぼう会・発見きち」は、子どもの「やってみたい!」を見守り、応援する冒険遊び場。生活クラブ運動グループからは、昨年4月、家庭料理を通して子どもや子育て家庭支援を始めた「えどがわあったか子ども食堂」、3年前から親子ひろばを展開する「まちカフェひろばもも」が参加しました。

それぞれの居場所に共通するのは、誰もが自分らしくいられる場であること。「中三勉強会」は「遊ぼうよ」とも声をかけ、勉強目的だけでなく来ていい場所であることを伝えたいといいます。「発見きち」

インクルーシブ事業連合では「地域の居場所」を広げるため、地域での「居場所フォーラム」の開催に上限3万円の助成を行い、講師料や会場費、広報費等に活用されています。

では時には「火」もツールとして、ワクワクする子どもの世界を広げています。

もうひとつの共通点は、大人でも子どもでも誰でも参加できること。しかし、子ども食堂やひろばの活動からは、人と比べながらの子育てに悩み、その悩みを打ち明けられずにいる実態も見えています。

「子どもの前にママの居場所が必要」との意見も。参加の一步が踏み出せない子どもや大人と一緒にいられるにはどうしたらいいのか。傾聴、アウトリーチによる丁寧なアプローチが急がれます。

コーディネーターの「江戸川子どもおんぶず」代表・大河内秀人さんは「子どもの意見表明権は子どもが自分の思いや願いを他の人に聞いてもらう権利。私たちはその声を聴き、子どもの最善の利益を保障していくことが大事」と話されました。



「発見きち」の発表をする寺西まりもさんと竹野晴美さん(右)。見守られていた世代が見守る側になっています。

(インクルーシブ事業連合事務局・稲宮須美)



インクルーシブ事業連合が16年10月~17年3月に実施した
ともに働く事業所指定寄付(スポット寄付)へのご協力ありがとうございました。
皆様からいただいたご寄付は、誰もが排除されることなく「ともに働く」
まちづくりに向けて各団体で生かしてまいります。

寄付実績

NPO法人コンチエルティーノ 94,500円 (+団体に直接寄せられた現金寄付: 43,000円)
NPO法人エコメッセ 99,000円 (+団体に直接寄せられた現金寄付: 10,500円)
NPO法人こすもす 164,000円

【インクルーシブ事業連合構成団体】 生活クラブ生協・東京/NPO法人アビリティクラブたすけあい(ACT) 社会福祉法人悠遊/東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合/東京・生活者ネットワーク/東京コミュニティパワーバンク 認定NPO法人市民シンクタンクひと・まち社/認定NPO法人まちぽっと/NPO法人エコメッセ